

## 会 議 録

会議名	平成 23 年度第 4 回八王子市博物館協議会	
開催日時	平成 24 年 3 月 18 日（火）午後 6 時 30 分～8 時 25 分	
開催場所	八王子市郷土資料館集会室	
出席者	委員	大村のり子、小野一之、柿崎博孝、田野倉宏和、田村知美、西嶋佳子、深栖義昭、藤岡換太郎、山中幸生、吉田幸子、（50 音順）
	事務局	齋藤和仁生涯学習スポーツ部主幹（こども科学館担当）・田島巨樹郷土資料館長（文化財課長）・森融こども科学館主査・戸井晴夫郷土資料館主査、尾崎光二郷土資料館主査
欠席者		
議 題	協議事項 1. こども科学館及び郷土資料館の事業実施状況（4 月～2 月）について 2. その他	
公開・非公開の別	公開	
傍聴人の数	なし	
配付資料名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議次第</li> <li>・ こども科学館事業実施状況</li> <li>・ 郷土資料館事業実施状況</li> </ul>	

<p>会議の内容 (要旨)</p>	<p>八王子市子ども科学館の事業実施状況と施設評価について齋藤子ども科学館館長から説明。つづいて八王子市郷土資料館事業実施状況と施設評価について田島郷土資料館長から説明。</p> <p>— 質疑応答 —</p> <p>小野会長 事務局からの説明がありました。両館ともに良い成績を残せたということでした。御意見をいただきたいと思います。</p> <p>小野会長 山中委員</p> <p>山中委員 鉄道展の展示図録を増刷というお話がありましたが、何部刷って、どの位の期間で無くなったのか、お聞かせください。</p> <p>田島館長 1000部刷って、博物館等に154部を研究資料として配付した残部、846部が一ヶ月間で完売しました。また、4月10日からの「私鉄線編」に合わせて、800部増刷しました。</p> <p>小野会長 吉田委員</p> <p>吉田委員 いつも良い資料を出版したしていますが、適切な価格があって良いと思います。今回も400円で販売していますが、内容に比べて価格が安すぎるのではないのでしょうか。</p> <p>田島館長 価格設定についてですが、公共団体が行う事業については、基本的に必要経費を上回る値段を設定することが出来ないことになっています。印刷物を作成するには、委託費か印刷製本費を使用して契約することになります。郷土資料館では、学芸員が割付けからすべて行い、印刷原稿を作成して完成した原稿を印刷業者に渡して、印刷の契約をしております。その結果、割付け等の作業を業者がすべて行う委託に比べ、単価を低く抑え、廉価な価格で提供できています。今後は、市も税外収入を積極的に確保する方向ですので、市内の印刷物を提供している課と価格設定の考え方を整理し、基準について検討していきたいと考えています。</p> <p>小野会長 大村委員</p> <p>大村委員 子ども科学館の9月、10月の数が、132%、129%と非常に多いのですが、その要因をどのように考えていますか。</p> <p>齋藤館長 夏休みのプラネタリウムの夏休みのコンテンツとしてのポケットモンスターの集客力が非常にありまして、一昨年1万2千人という数字もかなり多い数字で、かなり沢山のお客様に来ていただいたのですが、22年度の夏の1万5千人という数字は、夏としてはこれ位が上限かと思われる数字だったのですが、また上積みが出来たのが8月でした。コンテンツと</p>
-----------------------	--

	<p>してのポケットモンスターが強かったというのが一つの要因と考えられます。9月は、機関車トーマスに乗ろうというイベントをやっている月なのですが、実は9月というのは宣伝に苦慮する月で、イベントのチラシを前月中に子どもたちに届くように配るのですが、夏休み期間中であるため、配ることが難しいことが、私達のここ数年の悩みだったのですが、今年9月1日に配る体制を整え、手元に届けられたことが、ここ数年に比べ、機関車トーマスに乗ろうというイベント2日間の来場者が非常に多かったことが、来場者数を増やすことにつながったと考えています。</p> <p>小野会長 23年度はポケモンなどで良い成績を取めたわけですが、22年度のハヤブサブームの後、どのように対応するかという危機感があったわけですが、このような形で乗り越えることが出来たということですね。今後もどのようにして乗り越えていくか、期待していきます。</p> <p>小野会長 西嶋委員</p> <p>西嶋委員 郷土資料館の方ですが、子ども科学館の夏休み中の来館者数の伸びに比べ、それほど伸びていないのは、大人対象の施設と考え、子供向けの事業が少ないためではないでしょうか、夏休み期間中は子ども向けの事業を企画し、若年層を集客に結び付けることを考えても良いのではないのでしょうか。</p> <p>田島館長 夏休みの時期には、総務課と調整しながら戦争をテーマにした展示を行っています。24年度は、資料館で収蔵している戦争関係の資料を手にとって見たり、触れたり出来るような展示を検討しています。また、ボランティアが行っている紙芝居等も含めて、夏休み期間中のイベントとしてピアールしながらやっていきたいと思っています。</p> <p>小野会長 柿崎委員</p> <p>柿崎委員 郷土資料館ですが、企画展が成功しているということで、嬉しく思っていますが、常設展の方は、どのような状況になっているでしょうか。たとえば、資料の入れ替え等をされているでしょうか。</p> <p>戸井主査 新しい資料や状態が悪くなった資料を部分的に入れ替えていますが、意図的にテーマを設定した展示替えは行っていません。新たに収蔵した資料の一部を新収蔵コーナー展として、公開しています。</p>
--	--

	<p>柿崎委員 博物館ですので、常設展示の方もよろしくお願ひします。</p> <p>小野会長 田村委員</p> <p>田村委員 郷土資料館ですが、鉄道展が好評ということで大変うれしく思いました。私の周りでも多くの人から行ったという話を聞きました。改めて、鉄道に関心のある人が多いと感じました。子ども科学館ですが、金環日食が早朝の時間帯になりますが、何か企画しているのでしょうか。</p> <p>齋藤館長 日食のイベントについてですが、日食の当日は休館日に当たりますが、天文に力を入れている当館ですので、日食の時間帯だけ開館することにしました。皆既日食のイベントの時には申し込み不要、当日会場へということで開催したところお客様が殺到し、警察が出動する騒ぎになってしまいましたので、日食自体は館に来なければ見る事が出来ないということではありませんので、今回は事前申し込みで、定数を設けて行おうと考えています。また、館の使命としては、当日のイベントそのものより、むしろ事前の学習会の方が重要と考えています。4月からは、金環日食を見ようという八王子オリジナルの番組を投影することになっています。土日を全部使い、金環日食の学習方法の学習会を行います。その学習会とは別に、もう一回、八王子市内の小中学校の先生を集めた学習会を行います。各学校の理科専科の先生の多くは参加してくださると思いますので、各学校で登校時間を少し早めていただき、各学校の校庭で日食を見ていただくことが出来れば、子どもたちにとって、一番良い学習の機会となると思いますので、各学校から来ていただき、各学校で実施できるように、当館から積極的に啓発していきたいと考えています。日食のイベントについては、以上のように考えています。</p> <p>小野会長 日食当日の対応については、その様な対応が良いとおもいます。不特定多数の人を集めて、その人たち全部に日食眼鏡を準備できませんし、全部に行き渡らないで実施し、事故が起きると大変ですので、イベントへの参加者には定数を設けて実施し、事前の研修会で使命を果たすことが出来ますので、良い対応と思います。</p> <p>小野会長 成功している鉄道展に関して三つあります。鉄道展と言うと「反応が良い」、「お客さん」が多いとどこでも言われる反面、</p>
--	---

	<p>マニアが多く、非常に詳しい人が多く、安易に取り組むと博物館の専門性が問われるということがあります。ここで、企画された切っ掛け。二つ目として、相当の準備が必要と思いますが、スタッフ体制について一人の学芸員が対応したのか、チームとして対応したのか。また、期間がどの位かかったのか。三つ目として、人が多く来た。資料が多く集まったということではなく、博物館として鉄道について調査研究し、新しい成果が上がったのかどうか。以上の三つについて伺います。</p> <p>戸井主査 当初は、八王子の交通という展示を考えていました。鉄道だけではなく、乗合バスですとか、あるいは甲州街道の路面電車とかそういったものを全部含めた「八王子の交通と発展」というテーマで、考えていました。館蔵の資料もありましたし、そういった資料を持った市内の方もいましたので、当初はそういった切っ掛けで始めました。実際に始めたところ想像以上に資料が集まりまして、今回は鉄道だけで実施することにしました。スタッフは、囑託の学芸員が二人でメインとサブになって取り組みました。実務的な展示図録の写真撮影等は私も協力しました。準備期間ですが、予算の関係もありますので、前年度の秋口から準備を始めました。ただし、鉄道や交通に関しては、担当した学芸員が各々以前から資料を収集しており、どのような展示が出来るか考えて取り組んできましたので、そう考えると比較的長い期間、調査・研究をしていたと言えます。今後は、多くのお客様に来ていただいた御蔭で、この機会にお持ちの資料を見せに来られた方や寄贈してくれた方もいます。また、鉄道博物館から多くの文書資料等も借りることができましたので、八王子との関連についてさらに調査したいと考えています。今後も調査を続け、切り口を変えて開催したいと考えています。</p> <p>小野会長 ありがとうございます。来年度の展示に期待しています。他に、意見がありますか。無いようですので、その他について事務局からお願いします。</p> <p>田島館長 八王子城跡ガイダンス施設の概要について説明。</p>
--	--

	<p>小野会長 説明が終わりました。御意見、御感想をお願いします。</p> <p>田野倉委員 レクチャールームの座席はいくつありますか。</p> <p>田島館長 座席数は、72 から 75 座席を考えています。丸テーブルを8台置く予定になっています。</p> <p>小野会長 深栖委員。</p> <p>深栖委員 郷土資料館との関係はどうなっているのか。また、こちらの最新の解説設備を順次、郷土資料館に導入する計画はありますか。</p> <p>田島館長 こちらの施設は、ガイダンス施設ですので、フィールドに行く前にこちらに立ち寄っていただいて、フィールドの状況についてある程度の理解をした上で、フィールドを楽しんでいただく施設と考えています。さらに、ここから出土した本物の資料を見たり、調べたいという場合には、郷土資料館に来ていただくというふうに考えています。このように、両施設の機能を位置づけています。郷土資料館の今後については、このままで良いとは思っていません。昭和 42 年の開設ですので、45 年が経過していますので、建て替えするとか、総合的な博物館にするとか、検討していく予定です。</p> <p>深栖委員 郷土資料館というよりは、博物館として整備する方が良いと思いますので、検討をよろしくをお願いします。</p> <p>小野会長 藤岡委員。</p> <p>藤岡委員 パノラマビューは非常に良いと思いますが、方位の表示や景色が 360 度見られた方が良いと思います。現在の大きな地図に八王子城を示し、このようなビューが見えると表したら良いと思います。難しとは思いますが、当時の今は無いものを作ることが出来たら良いと思います。もう一点、背後の様子が分かる絵があると、平野の方だけではなく、360 度見ることが出来て、迫力があって良いと思います。いかがでしょうか。</p> <p>田島館長 360 度に関しましては、パノラマビューが見えるのは、本丸からやや下がった場所になりまして、背後に高さがある場所で景色が見えない所です。実際に見えるところを表示するという考えです。ランドマークについても表示する予定です。たとえば、スカイツリーも見えますのでランドマークとして表示する予定ですし、方位についても南東から北東まで見えますので表示します。地形図ですが、展示の解説板で表示し、</p>
--	---

	<p>立体的なものは、城模型の方で表すことが出来ますので、役割分けをして対応しようと考えています。</p>
小野会長	西嶋委員
西嶋委員	総工費と補助金等の内訳をお願いします。
田島館長	<p>総額が約2億3千万円、建物の建設工事費が約1億6千万円で、この展示計画を実行するためには約4千万円の予算を見込んでいます。今回の八王子城跡活用事業の5年間の費用としては、6億1千6百万となっています。補助金については、国から50%、東京都から25%となっています。</p>
小野会長	田村委員
田村委員	この施設の位置づけは、博物館相当施設になるのでしょうか。また、ここで働く職員の所属はどちらになるのでしょうか。
田島館長	生涯学習施設という位置づけになり、博物館的機能もございませんし、職員を配置する計画はありません。管理については、委託する計画です。解説については、ガイドボランティアが行う予定です。運営についてはこのように考えています。
田村委員	博物館に行き、展示を見ることで「テーマを感じとる展示」と「知識を吸収する展示」があると思っておりますが、この施設のコンセプトをお聞かせください。
田島館長	<p>一番の意図することは、国の史跡であるということを感じ取っていただきたい。中世の城で、防御を石垣で考えた城は金山城を除くと関東にはあまりありませんで、その壮大な城を感じ取ってもらいたい。北条家の二男の北条氏照がどれくらいの権力を持っていたかも感じてもらいたいと考えており、遺跡としての価値を高めたいというのが第一の目的です。第二の目的としては、八王子の名の起こりとなった場所ですので、この場所に大切にしていき郷土に興味を持ってもらい、郷土愛を育てていきたいと考えています。</p>
小野会長	大村委員
大村委員	<p>これ全体を見ると郷土資料館のつづきに見えて、余り観光を意識しているように感じないです。ここに来る人たちは、必ずしも八王子城の歴史の知識を深めようとする人ばかりではないと思います。ちょっと散策に行ってみようというような人も多いと思いますので、観光的な要素も入れた方が良くと思いますが、いかがでしょうか。また、説明文も難しいので、表現をもう少し易しく、振り仮名や外国語の表記をした</p>

	<p>方が良いと思います。</p> <p>田島館長 この事業そのものが、文化庁の補助を受けて行っているものですから、ある程度の縛りもありますが、この施設を点で活用しようとは考えているわけではなく、フィールドインフォメーションを付けたり、散策路の整備を自然公園を管轄する東京都にお願いに動こうと考えているところです。八王子城跡を中心に高尾山や市の施設である夕焼けふれあいの里をとのコラボレーションを考えていまして、観光課と連携して取り組んでいきたいと思います。今回、平成 24 年度当初に駒木野にある国史跡の関所跡の近くに、駒木野庭園がオープンする予定です。高尾山から蛇滝道をおりて駒木野庭園で休憩して、八王子城跡に回るような散策ルートも検討していきたいと考えています。一つ問題がありまして、それは、八王子城跡に公共交通機関が入っていないということがあります。それも、交通政策室に働きかけ、公共交通機関の整備も進めていきたいと考えています。</p> <p>小野会長 藤岡委員</p> <p>藤岡委員 観光名所は絶対大事だと思います。八王子市内の観光ルートマップを作成し、回ることは良いことなので、フィールドワークをする場所を整備をすすめて、やっていけば良いと思います。</p> <p>小野会長 山中委員</p> <p>山中委員 プロジェクターを使ったり、電気機器施設あったりして面白そうと思ったのですが。運営とか開館時間がどうなのかと思いました。場所的に、お客さんが頻繁に来るような施設では無いような気がします。そういった場合に、昨今の節電とかいった場合に、常にプロジェクターを上映しているというのは、省エネに反する部分が出てきますので、こういった運営を考えているのでしょうか。</p> <p>田島館長 開館時間は、午前 9 時から午後 5 時まで、年末年始以外は開館しようと考えています。この施設を休憩所としての機能も考えています。八王子城全体を考えますとトイレもあまり多くありませんので、この施設の規模としては、トイレの数も多く設置してありますし、開館時間も出来るだけ長くしたいと考えています。解説については、ガイドボランティアにお願いする予定ですので、プロジェクター等の取扱いにも習熟</p>
--	--



	<p>してもらい解説の際に上手く活用してもらおうとともにスイッチのオン・オフにも注意を払ってもらい、環境面の配慮もしていきたいと思っています。</p> <p>山中委員 プロジェクターの場合には、ライトの関係上、お客さんが来たときにすぐに動かせなくて、待っててくださいということになってしまい、面白そうなんですけど、いざ動かそうと思った時に動かせなかったというようなことが無いように、上手く活用出来たら良いと思います。もう一つ、ゲーム的に使われている忍者が出てきているのは面白いのですが、史実に忍者がいたのかどうかということが、こういった施設ですので史実と違ってはいけないかと思いましたので、どうでしょうか。</p> <p>田島館長 八王子城を攻めてきた上杉軍には文献に残っていますので、いたということで問題ないと考えています。</p> <p>小野会長 田野倉委員</p> <p>田野倉委員 施設が出来た後の管理は委託という説明がありましたが、軸が無い形で動いて行くという心配があります。もう一つは、機械類は丁寧に使う人ばかりではないので、壊れることもありますけど、壊れたときにすぐに対応が出来ないとあそこの施設はいつも機械が壊れている印象を持たれる可能性があります。この点についてどのように、考えていますか。</p> <p>田島館長 この施設の管理自体は委託ですが、活用はガイドボランティアにやってもらうことになっています。八王子城跡のガイドボランティアは34名いまして、どの方も八王子城や中世の歴史が大好きで興味を持っている方たちで、八王子城をよくしていこう・発信していこうと大変な熱意をもって取り組んでいる方々でございます。管理委託は、鍵の開け閉め等の簡単なものだけと考えています。機器類の管理についても文化財課の方へ連絡し、それに対応する体制を整えますので心配はないと考えています。</p> <p>小野会長 深栖委員</p> <p>深栖委員 委託を発注する部署はどこになりますか。</p> <p>田島課長 文化財課になります。</p> <p>深栖委員 管理者がいてどのように管理していこうとしているのでしょうか。</p>
--	---

	<p>田島館長 この施設の管理責任者は、私になりますので、私が非常時の対応を当然しますし、文化財課の職員が対応することになります。八王子城跡については、先週も毎日のように職員が行っておりますので、職員の見える範囲にあり、状況把握と緊急時の対応は十分可能だと考えています。</p> <p>小野会長 吉田委員</p> <p>吉田委員 ビジターセンターのような施設ということで、実物の資料は展示しないということのようですが、実物大の展示をお願いします。パノラマビューに方位を付けることも良いのですが。小学校の子どもたちは、その場所での東西が分からないので、東西南北や地平線・水平線の空間把握が身に着くように計画していただければと思います。</p> <p>田島館長 パノラマビューを貼るところは、本丸の下の見える場所と同じ方角に貼りますので、体感してもらえそうです。地平線と水平線については、難しいかと思います。</p> <p>小野会長 藤岡委員</p> <p>藤岡委員 比較模型という話がありましたが、周辺の地形を含めた比較立体模型を作るということでしょうか。</p> <p>田島館長 そのとおりです。</p> <p>藤岡委員 本丸まで高さが分かり、標高差がどの位かが分かるのであれば良いです。もう一つ、ここに来る人の対象を地元の人だけではなく、全国の人を対象にしているとこの説明で分かるのかという気がします。他の地域から来た人が、なぜ、八王子城なのか、滝山城なのか、分かるような説明をケアすることも必要だと思います。</p> <p>田島館長 解説の内容については、引続き検討していくこととなっていますので、さらに煮つめていきたいと思っています。先日も広島からのお客様がいました。日本 100 名城に選ばれていることからスタンプラリーを楽しまれている方が、全国から来られますので、そういった方々にも対応できるような解説にしていきたいと思っています。</p> <p>小野会長 柿崎委員</p> <p>柿崎委員 展示パネルなどを出来るだけ耐久性のあるものを選んでいただきたいと思います。また、ボランティアについてもこういう生涯学習施設でやりたい人も多いと思いますので、</p>
--	---

	<p>上手く養成していただきたいと思います。</p> <p>田島館長 ボランティアに関しては、毎月定例会を開いていまして、その中で、研修会や北条氏関係の城を視察に行く等、研鑽を積んでいます。そのような形で養成をしています。</p> <p>小野会長 多様な方をお迎えする施設であることを前提にして考えた場合に、この解説は非常にきっちりとまじめに出来ていると思いますが、もうちょっと何を伝えたいのかというところが、真面目すぎて分からないと言ったところもあるのかもしれませんが。館長さんがおっしゃったとおり、八王子市の元なのですよね、この山に祭られていた小さな社が八王子の発祥の地であると、街もそこからこちらに来たのだと、来た人に伝えたいと、今の現状の説明では、城内マップの八王子神社という小さな写真の中に解説があるだけなので、八王子市の発祥の地であるということをまず、とっかりとして、知ってもらいたいということが、分かるような解説がほしいと思います。落城伝説については、歴史的に史実では無いということでしょうか、この解説の中では、いっさいこの中では触れられていません。落城伝説というのは、来た人にとっては興味を持つとっかりとしては、大きいのかなと思いました。以上、感想を申しました。もう一つは、史跡によくあるガイダンス施設の作りの中には、20~30人の見学者が来て、ガイドボランティアから説明を受けるには、まずエントランスに入って人が集まれる場所があって、メインの展示があって、指をさしながらガイドの人が説明するという風になっているのですが、その意味からするとここのガイダンス施設は狭すぎるのですね、いきなり個別の展示施設になってしまう。イメージとしては、入り口まで案内して、後は中に入って各自、自由にご覧くださいというような作りになってしまう。こういった施設がよくあるのですが、実際に、団体の人達が見る施設としては、本当は好ましくないと思います。この様な形に作らざる負えない面もあるのですが、活用方法を工夫してやる。たとえば、入ったら場内の模型を一回りしてもらい、集まってガイドを受けるという方法があります。実際の活用のイメージを描きながら、進めていただければと思います。</p> <p>田島館長 団体対応については、休憩スペースを仕切って、解説シート等を配って説明をしてから展示スペースの方に入っていた</p>
--	---

	<p>田島館長 くような方法を検討しているところです。なるべく多くの情報を伝えたいということで、ボリュームが膨らみ、集まる場所がなくなってしまったという状況が生まれたことがありますので、案内の方法については、引続き検討していきたいと思っています。落城伝説なんです、私どもが一番苦慮しているところです。インターネットでも様々な情報が流れており、情報によっては、払拭したいものがあります。しかしながら、御主殿の伝説がありますので、地域に伝わる伝説については、活かしていきたいと考えています。今回の展示の中でどう取り込んでいくかという議論もありましたが、ガイドボランティアが行うガイドの中で、口頭による説明で対応することにしました。</p> <p>小野会長 田野倉委員</p> <p>田野倉委員 絹の道資料館では、ハイキングの途中で立ち寄って、食事をすることが出来ますが、こちらでも出来るのでしょうか。</p> <p>田島館長 休憩スペースで、食事等が出来るようになっています。レクチャールームは仕切られていますが、オープンにすると広い休憩スペースになりますので、大人数でも使っていただくことが出来ます。</p> <p>田野倉委員 飲料水等の対応は、どのようになりますか。</p> <p>田島館長 自動販売機の設置はしません。周辺にある民間で設置ものを利用していただくように考えています。</p> <p>小野会長 八王子市の市域は広いですので、絹の道資料館を含めて色々な所にサテライト的な施設ができ、また、子ども科学館、郷土資料館も好調であるということになれば、このところで、ステーションとなる新しい博物館構想の実現に向けて良い機会かと思います。他に無いようですので、これで閉会とします。</p>
--	---